

学校関係者評価委員会報告書

開催日時	令和7年3月7(金)15:00～17:00
開催場所	本校学生ラウンジ
出席者	① 評価委員2名 松永委員長(大学院特任教授) 谷口委員(栃木県介護福祉士会会長) ② 本校教員4名
配布資料	① 高等教育無償化にかかわる資料の抜粋 ② 自己点検表 ③ 本校教育課程(カリキュラム), 時間割
議題 議事内容	① 高等教育無償化にかかわる制度の説明と本校の状況 本校も本年度に高等教育無償化の対象校として機関要件を満たし認定された。しかしながら無償化対象者が在学学生、新入生とともに現在1名である。 申請者が少ない理由の一つとして、栃木県介護福祉士修学資金の貸与によって、学費の全額が支弁されることが考えられる。今後対象者が出た場合は、速やかに対応したいとの説明がなされた。 松永委員より、GPA 評価に関して大学の事例を挙げながら評価に関してのアドバイスがなされた。 ② 学校自己評価の説明 自己評価に関してはおおむね適正な運営がなされていることが説明された。 ③ 留学生の日本語教育の必要性に関する説明 高等学校から入学する学生に加え、日本語学校からの留学生の入学と多種多様な学生が在籍している。国家試験の合格率を高めるためにも、介護福祉士国家試験に対応した独自科目を実施している。また、介護福祉士資格取得に加えて、介護予防指導士とレクリエーションインストラクターの関連資格は引き続き取得させていく。 委員より、留学生を教育するにあたって、困難なことや対応についての質問がなされた。 教務より、日本語のレベルが低いため授業を理解させるためには工夫が必要であることや、介護にかかわる日本語の授業を留学生対象に実施していることが説明された。 ④ 感染症に関しての対応 コロナは5類になったとは言え、以前と感染する学生がいる。感染した学生に関しては通学させず、自宅で学習をさせている。オンライン授業が望ましいと 考えているが、通信環境が整わない学生もいるため、今度の対応を考えている。

学校運営会議報告書

開催日時	令和 6 年 10 月 8 日 (火) 15:00～15:40
開催場所	特別養護老人ホーム美涉研修室
出席者	① 運営委員 4 名 千種委員 (大学医学部特任教授) 佐藤委員 (弁護士) 磯委員 (元特養施設長) 近藤委員 (税理士) ② 栃木介護福祉士専門学校 大山知子 (社会福祉法人蓬愛会理事長全国老人福祉施設協議会副会長) 縣和尋 (社会福祉法人蓬愛会業務執行理事) 絹木憲司 (栃木介護福祉士専門学校校長)
配布資料	① 栃木介護福祉士専門学校の現状報告 ② 生徒指導に関する報告
議題 議事内容	① 栃木介護福祉士専門学校の現状報告 現在の在校生数 1 年生 37 名 (日本人 19 名・留学生 18 名) 留学生出身国 (ネパール 14 名・スリランカ 2 名・インドネシア 1 名・フィリピン 1 名) 2 年生 16 名 (日本人 12 名・留学生 4 名) 留学生出身国 (ネパール 4 名) 日本人入学者の減少と、外国人留学生の増加が昨今の特徴である旨の説明がなされた。 ② 生徒指導に関する事項 生徒指導に関する事項は教育現場において生徒の学習や生活指導・行動や態度の改善、心理的な支援などに関する問題を提起し協議した。 特に留学生に対する生徒指導 (退学者に関する指導) 令和 5 年度は留学生退学者 1 名 (退学者は優秀な学生でしたが、早く現場に出たいと言うことで退学をした) 校長より、学生数増加は歓迎すべきことではあるが、留学生の教育には言語の壁、学費の壁、生活習慣の壁等があるため、適切なフォローを行っていきたい。 介護における日本語教育が必要なため、介護の職場で働く外国人に日本語教育を行っている教員を非常勤講師として採用した。 次年度においては、更に日本語の基礎教育を授業に追加する予定をしている。 また、学費支援のために、留学生に対しては栃木県介護福祉士修学資金の貸与申請において、法人が連帯保証人となる予定であるとの説明がなされた。

